

# デジタルアートワークショップ

2025年3月4日(火) 千葉県南房総市立富山中学校

## 活動レポート

2025年3月4日(火)、千葉県南房総市立富山中学校でデジタルアートワークショップを開催しました。タブレットを用いて線画に彩色するデジタルアートに、1年生25名が初挑戦しました。

### ワークショップスタート

#### 柳生さんの紹介

ワークショップは美術の授業として開催。線画を制作している柳生千裕さんが寄せたビデオメッセージを紹介しました。彩色する工夫などのポイント解説を交え、これまでの作品や制作風景を伝えました。



柳生さんの最新の作品や制作風景の動画に注目する生徒達

### 制作準備

まず、4種類の線画作品から好きな線画を選択。基本の彩色方法と柳生さんの動画で見た細かい部分を彩色する際の工夫や彩色した色をキャンセルする操作などについて学びました。これで制作準備は完了です。



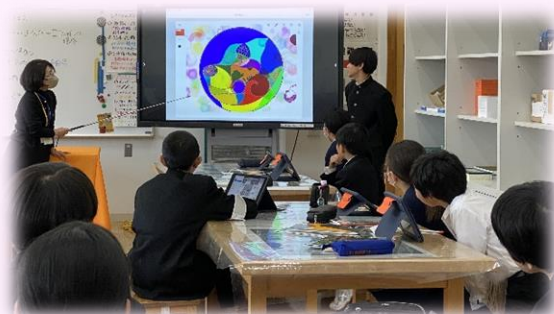
アプリの機能「パターン」使って制作する生徒

### 制作活動スタート

生徒達は作品制作に集中し、黙々と進めていきます。何度もやり直しをして進める生徒や思いのまま完成に向けて進める生徒もいました。

また、アプリのツール機能も活用して柄を入れたり、色をぼかすなど工夫する生徒も多く見られました。

早く制作活動が進んだ生徒は、2つ目、3つ目の線画の制作に取り組みました。



背景の工夫について発表する生徒

### 作品発表タイム

制作活動の後は作品発表です！代表者の10名の生徒がそれぞれ前に出て発表を行いました。

どんなイメージで制作したか、思い通りの作品を完成できたか、彩色の工夫などを丁寧に説明しました。

## 作品発表タイム

「チンパンジーの線画がお父さんに似ていたので、お父さんをイメージして制作してみました」という生徒や、「最初に明るい色味をイメージして彩色を目指したが、制作していく途中で路線変更しダークな印象の色味に変えました」という生徒など、皆思い通りに作品が完成したと満足した様子でした。

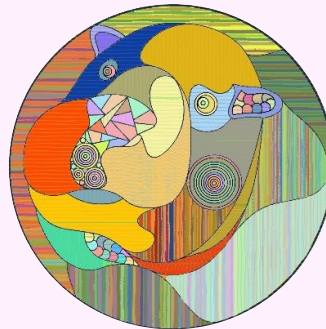


熱心に制作に取り組む生徒たち



先生も入って生徒と一緒に制作

## ワークショップ終了



個性豊かな作品が完成

## — 先生にワークショップ実施後の感想を伺いました —



美術担当の古谷 真美江先生

柳生千裕さんは、思いつくままにどんどん線を描き、この素晴らしいルーラーアートを制作していると伺い、生徒達は勇気ももらって、直感的にどんどん色を塗り進めていくことができました。集中して取り組む時間は、あっという間に過ぎてしまい、楽しくて癒される授業になりました。



柳生 千裕(やぎゅう ちひろ)さん

ルーラーアート作家。兵庫県西宮市在住の高校1年生。9歳から創作活動を開始。見た人が楽しく元気になる絵を目標に描く。

## — 事務局より ワークショップを終えて —

生徒一人ひとりがアート制作に取り組み、個性豊かな作品が出来上がりました。イキイキと作品づくりに挑む生徒達の姿がとても印象的で、出来上がった作品一つひとつからパワーを感じました。生徒達は普段、宿題やレポートなどを先生に提出する際にタブレット端末を活用しているということでしたが、今回のワークショップで、アート作品を創り出すという新たなタブレット端末の活用を体験してもらう良い機会となりました。(事務局 中 千鶴)